

Rec'd PCT/PTO 28 FEB 2005

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2004 年 3 月 11 日 (11.03.2004)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 2004/020633 A1

(51) 国際特許分類⁷: C12N 15/13, C07K
16/24, A61K 39/395, A61P 19/02, 29/00

(21) 国際出願番号: PCT/JP2003/010923

(22) 国際出願日: 2003 年 8 月 28 日 (28.08.2003)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(30) 優先権データ:
特願2002-253036 2002 年 8 月 30 日 (30.08.2002) JP

(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 財
団法人化学及血清療法研究所 (JURIDICAL FOUN-
DATION THE CHEMO-SERO-THERAPEUTIC RE-
SEARCH INSTITUTE) [JP/JP]; 〒860-8568 熊本県 熊
本市 大塚一丁目 6 番 1 号 Kumamoto (JP).

(72) 発明者; および

(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 杉村 和久
(SUGIMURA, Kazuhisa) [JP/JP]; 〒891-0103 鹿児島
県 鹿児島市 皇徳寺台 5-2 0-5 Kagoshima (JP). 吉

崎 和幸 (YOSHIZAKI, Kazuyuki) [JP/JP]; 〒659-0042
兵庫県 芦屋市 緑町 3-8-4 Hyogo (JP). 中島 敏博
(NAKASHIMA, Toshihiro) [JP/JP]; 〒869-1298 熊本県
菊池郡 旭志村川辺四の西沖 1 3 1 4-1 財団法人化
学及血清療法研究所 菊池研究所内 Kumamoto (JP).
佐々木 巧 (SASAKI, Takumi) [JP/JP]; 〒869-1298 熊本
県 菊池郡 旭志村川辺四の西沖 1 3 1 4-1 財団法人
化学及血清療法研究所 菊池研究所内 Kumamoto (JP).

(74) 代理人: 河宮 治, 外 (KAWAMIYA, Osamu et al.); 〒
540-0001 大阪府 大阪市 中央区城見 1 丁目 3 番 7 号
I M P ビル 青山特許事務所 Osaka (JP).

(81) 指定国 (国内): AU, CA, CN, JP, KR, US.

(84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, BG, CH, CY,
CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC,
NL, PT, RO, SE, SI, SK, TR).

添付公開書類:
— 国際調査報告書

2 文字コード及び他の略語については、定期発行される
各 PCT ガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語
のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: HUMAN ANTIHUMAN INTERLEUKIN-6 ANTIBODY AND FRAGMENT OF THE ANTIBODY

(54) 発明の名称: ヒト抗ヒトインターロイキン-6 抗体及び該抗体フラグメント

(57) Abstract: It is intended to provide a substance efficacious in treating an immunopathy in which interleukin-6 (IL-6) participates. Using the phage antibody method, a human antihuman IL-6 antibody and a human antihuman IL-6 antibody fragment showing a high affinity for human IL-6 are obtained. The above antibody and antibody fragment are expected as being useful as remedies for inflammation and an immunopathy caused by IL-6.

(57) 要約: インターロイキン-6 (IL-6) が関与する免疫異常性疾患の治療に有効な物質を提供する。ファージ抗体法を用いて、ヒト IL-6 に対して高い親和性を有するヒト抗ヒト IL-6 抗体及びヒト抗ヒト IL-6 抗体フラグメントを得た。当該抗体及び抗体フラグメントは、IL-6 が原因となって惹起される炎症、免疫異常性疾患の治療薬として期待される。

WO 2004/020633 A1